



おひさま

Vol.2

2014年6月



地方独立行政法人
加古川市民病院機構
Kakogawa City Hospital Organization

加古川西市民病院 Kakogawa West City Hospital
〒675-8611 加古川市米田町平津384-1
TEL:079-432-3531(代) FAX:079-432-3672

加古川東市民病院 Kakogawa East City Hospital
〒675-0115 加古川市平岡町一色797-295
TEL:079-437-2515(代) FAX:079-437-3806

● 第4回 地方独立行政法人加古川市民病院機構 地域連携会議 開催

第一部

- ① 神戸大学と関連病院の連携について
神戸大学医学部附属病院長 藤澤 正 人
- ② 東西市民病院の現状について
西・東市民病院統括院長 大 西 祥 男
- ③ 院内トピックス
内科系 東市民病院循環器内科医長 中 村 浩 彰
外科系 西市民病院副院長 金 田 邦 彦
地域連携室より (インターネット予約等)
東市民病院患者支援センター副室長 清 田 純 子

第二部 懇親会及び職員紹介

加古川東市民病院 地域連携室長: 大保 英文
加古川西市民病院 地域連携室長: 金田 邦彦

5月22日に加古川プラザホテルで加古川市民病院機構の主催する地域連携会議を開催しました。この連携会議は、東西の両市民病院と日頃お世話になっている地域の医療機関との連携を深める目的で毎年行っており、市民病院機構が設立されて以来、今回で4回目を迎えました。

当日は、東播磨医療圏の病院、診療所の医師や看護師、介護支援に携わるスタッフをはじめ、行政機

関および東西市民病院のスタッフ合わせて259人が参加しました。

会議は2部構成で行われ、第1部は神戸大学医学部附属病院の藤澤正人院長による「神戸大学と関連病院の連携について」の基調講演のあと、大西統括院長から市民病院の現状と統合される新病院の構想、建設の進捗状況について話があり、新病院では特に救急医療に力を入れ、高度急性期病院として地域医療に貢献するという基本的な理念が示されました。引き続いて、両病院のトピックスとして「東市民病院における血管内カテーテル治療とチーム医療」、「外科における集学的治療、低侵襲治療」および「西市民病院小児外科の現状」について講演がありました。最後に加古川医師会の足立副会長から加古川の医療圏域における地域医療情報システムについてお話をいただきました。



第2部では懇親会および職員紹介を行いました。宇高理事長、高岡健康福祉事務所長のごあいさつのあと、加古川医師会の枝川会長の乾杯のご発声で和やかに会が始まりました。途中、東西の市民病院の各診療科の長からあいさつと医師の御紹介をさせて頂き、両病院のスタッフと地域の医療機関、介護支援・施設の皆様が、顔を合わせて食事を交えながら親睦を深めていただきました。

第1部の講演の内容が盛りだくさんで時間が超過した影響で、第2部の懇親会の時間がやや短縮されてしまい、十分なお話をしていただく時間をとれなかった点は次回の課題と考えております。

このような会を開催することで、日ごろは書面や電話だけのやり取りに終わっている地域の先生方や医療スタッフと直に接して生の声を伺うことができ、病院と診療所の関係が深まり、有意義な時間を過ごすことができました。今後も地域の先生方とは顔の見える関係を築いて、東播磨医療圏における地域医療支援病院として十分な役割を果たせるよう努力してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



● リウマチ科を開設しました

加古川西市民病院 リウマチ科 医長：山根 隆志



左より 葉医師、田中医師、山根医師

各自約10年近い甲南加古川病院での診療で地域の皆様にはお世話になってまいりました。このたび、指導医1名を含む3名のリウマチ内科医が同院より赴任いたしました。

膠原病は多臓器に病変が及ぶ場合が多く、各科にわたった総合的対応を、より専門的に行う必要性が時代とともに増しており、急性期病態への対応ができるとともに、当地域のリウマチ膠原病診療に貢献したいと考えています。

当院での主な診療内容としましては、先述の急性期・総合的対応が生かせる分野として、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎などの代表的自己免疫疾患から各種類縁疾患の診断と治療を、肝・腎生検などの侵襲的な組織検査も併せて、病態を正確に把握するよう努めます。その上でステロイドパルス療法や各種免疫抑制剤治療とともに、必要時には血漿交換療法などの各種アフエリシス治療も行います。これらの治療に伴う副作用や合併症に対するマネージメントも、総合病院である利点を生かして進めていけるのではと思います。また原因のはっきりしない発熱や関節痛などの症状や、血液検査上の炎症反応の上昇、検尿異常などのリウマチ膠原病の可能性が疑われる患者様も、ご紹介いただければ診断・治療の努力をしていきたいとも考えております。関節リウマチ診療では、関節エコーなどを用いた早期診断を行いながら、各種生物学的製剤導入も含めた薬物療法を行います。

各曜日一人は外来診療を行える体制となっており、入院病床も設けていますので入外問わずご紹介いただければと思います。地域の先生方やコメディカルの皆様方とも協力し、研修医の育成も含めて、我々自身研鑽し続けていきたいと考えておりますので今後ともよろしくお願いします。



● 「看護の日」を開催しました



フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を「看護の日」と定め、5月12日を含む週を「看護週間」とし、全国各地でイベントが行われています。

当院でも、5月15日（木）1階ロビーにて「看護は元気をリレーする」をテーマに、看護師がボランティアで手作りの「看護の日」を開催しました。

今年はNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の主人公の黒田官兵衛をイメージした姫路市のキャラクター「かんべえくん」と、妻の光（てる）をイメージした加古川市の「てるひめちゃん」が参加してくれました♪



AED講習会



ハンドマッサージ



ロビーコンサート（ハーモニー）



ロビーコンサート（小児科病棟看護師）

● 「腫瘍・血液内科」における多職種チーム医療と活動内容

加古川西市民病院 腫瘍・血液内科 部長：岡村 篤夫

「腫瘍・血液内科」は、平成25年4月に開設され、平成26年4月には加古川西市民病院における新診療科として正式に標榜されることとなりました。現在、専属医師は1人のため、その主たる専門領域である血液疾患、とりわけ血液がんの患者さんを中心に診療を行っております。今後は医師の補充および診療体制の基盤整備がすすみ次第、がん診療においては幅広く、血液がん以外のがん患者さんに対しても、診療を拡大していく予定です。

これまで本邦では、治療効果のみを重視した医学的判断が優先されてきた結果、一貫して医師（主治医）中心の医療が行われてきました。しかし近年、医療は高度化し、診断・治療の複雑化に伴って専門分化が進んでいること、患者さんならびにそのご家族の心理・社会的背景や価値観が多様化していること、特にがん治療においては多大な医療資源の投入が必要であり医療経済的な側面も無視することはできないこと、等の理由から、主治医単独で患者さんの治療を決定・実施することは困難となってきました。

そこで当科では、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、理学・作業療法士、臨床検査技師、ソーシャルワーカー等のメディカルスタッフが、お互いの職種を尊重し、かつ責任を持ってそれぞれの専門性を発揮する、多職種チーム医療を実践しています。加古川東市民病院歯科口腔外科のスタッフには、入院治療中の患者さんの往診にも来て頂いております。毎週金曜日には、看護師司会による多職種合同チームカンファレンスを開催しています。そこでは、患者さんに関する情報共有を行った上で、チーム全体の治療目標を決定し、それぞれの職種で目標に沿った診療が行えているかの確認を行っています。時に、化学療法など治療適応の有無についても議論されますが、医学的判断に偏ることなく、患者さんの心理・社会的背景も考慮し、それぞれの職種の立場から意見交換を行っています。また、患者さん主体の医療ではありますが、患者さん自身もチームの一員であると私たちは考えています。診療を通じた他のチームスタッフとの関わりの中で、患者さん自身の責任と役割を認識しながら、後悔のない意思決定に繋げて頂ければと思います。

これらのチーム活動は少しずつ実を結び、今年の2月には再発性リンパ腫の患者さんに対して、自家末梢血幹細胞移植を行うことが出来ました。移植は成功し、患者さんは現在、月に一度の外来通院を行いながら既に社会復帰されています。多職種チーム医療の集大成とも言える造血幹細胞移植を、診療科開設よりわずか10ヶ月で安全に実施出来たことは、能力の高いメディカルスタッフの努力によるものだけでなく、私たちの目指す多職種チーム医療の方向性が間違っていないことを示すものだと考えています。

在宅医療の推進に伴い、今後私たちの実践する多職種チーム医療は、院内活動のみでは不十分となり、地域医療を担うメディカルスタッフの方々の参加なしでは成り立たなくなることが予想されます。日々の診療で大変お忙しいとは存じますが、その際にはぜひともチームの一員としてご協力頂けますようお願いいたします。これに先立ち、今年度からは地域医療を支える院外のメディカルスタッフの方々にも参加して頂ける血液勉強会を、当院にて定期的に開催しております。地域連携室を通じて、皆様方の所にはご案内させて頂いております。お時間がございましたら、ぜひともご参加下さいますよう、併せて宜しくお願いいたします。



● 産婦人科病棟・外来の一元化によるメリット

加古川西市民病院 産婦人科 師長：北野 由起恵



当院産婦人科看護スタッフは、今年度から病棟と外来を一元化し、同じ一つの部署になりました。メリットとして、病棟で勤務していた助産師が外来を担当し、入院生活を踏まえた継続的な保健指導やケアを提供することができるようになります。また、私たち助産師も知識や技術をより多くの患者に提供できることや身体的・心理的・社会的に支援が必要な患者に寄り添い、支援を行えることで充実感を感じています。今年度の産婦人科の看護目標は、「外来・病棟の連携を強化し、患者主体の継続的な看護を提供する。」です。この目標に向かって産婦人科スタッフ一同力を合わせて頑張りたいと思います。

● 弁膜症外来の紹介



加古川東市民病院 循環器内科 医長：辻 隆之

平成26年4月より弁膜症専門の外来を始めさせていただきました。心臓の中には大動脈弁、僧帽弁、三尖弁、肺動脈弁の4つの弁が存在し、弁機能に異常をきたした状態を総称して弁膜症といいます。

症状としては「息切れ」「動悸」「胸痛」「むくみ」など様々ですが、初期には症状はでません。病状が進行すると「失神」や最悪の場合は「突然死」に結びつくこともあります。また不整脈や感染性心内膜炎（心臓内に細菌が巣をつくった状態）の誘

因となり「脳梗塞」や「急激な呼吸困難」を起こすこともあります。

検査は心エコー図検査だけでほぼ弁膜症の確定診断ができ進行度もわかります。心エコー図検査は痛みや放射線被爆もなく、比較的安価であり患者さんにとって優しい検査です。

治療は心臓に負荷がかかっていると判断した場合には薬剤治療を開始しますが、薬剤治療によって弁膜症が治ることはなく、進行して自覚症状を伴う場合には基本的には手術の適応となります。しかし、ガイドライン通りにすべての方に手術をお勧めする訳ではありません。患者さん本人の希望、年齢、家庭環境、他の併存疾患など様々な因子を考慮した上で治療法を相談します。近年、弁膜症に対する治療は循環器内科領域で最も変化している分野で、SHD (Structural Heart Disease) と呼ばれています。これはカテーテルを用いて比較的low侵襲的に行える治療です。今のところは標準的な治療は開心術ですが、患者さんの状況によってはカテーテル治療を第一にお勧めすることもあります。

心臓の雑音が聞こえる方、以前に弁膜症を指摘されているが最近心エコー図検査を受けていない方、症状を伴う弁膜症を診ている、などございましたら是非とも月曜日の弁膜症外来にご紹介ください。適切な診断とその患者さんにとっての適切な治療方針を患者さん本人・御家族と相談して決めさせていただくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

● 慢性心不全看護認定看護師の紹介

加古川東市民病院 慢性心不全看護認定看護師：小林 彩香

現在、認定看護分野には21種類の分野があります。弊院では循環器疾患患者の24時間受け入れを行っておりますが、この循環器に特化した認定看護分野は、慢性心不全看護分野として、平成24年6月に誕生したばかりです。私はその2期生として学び、認定看護師資格を取得いたしました。

慢性心不全は、さまざまな心疾患を基に、増悪や寛解を繰り返し、療養生活も長期化し、不可逆的な悪化やQOL低下をもたらします。患者さんが在宅での生活を安心して過ごせることや、急性増悪の予防・再入院予防・QOLの向上の手助けができるよう、他職種と連携し、チーム医療の橋渡しの役割を担っていきたいと考えております。

まだまだ新しい分野であり、皆様のご協力とご理解が必要となります。私自身もまだまだ未熟ですので、今後ともご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



● 腎臓内科外来が週 2 回になりました

加古川東市民病院 腎臓内科 医師：米倉 由利子



米倉医師



吉川医師

腎臓内科外来開設後 1 年間、近隣の医療機関の先生方から多くの患者さんをご紹介いただいております。患者さんの多くは、高血圧や糖尿病の治療経過中に、徐々に腎機能が悪化してきている方や、検尿異常が持続している方でした。腎疾患の病態や除去可能な要因を検索して、治療内容の変更が必要ないかどうか検討しています。末期腎不全への進行例では、腎代替療法の説明・選択、シャント作成（全身状態、

合併症により当院または他院での手術を選択）を進めております。透析導入は腎臓内科での入院可能な他病院へ依頼していますが、治療環境がスムーズに移行できるように心がけております。腎生検を必要とするネフローゼ症候群や慢性腎炎の場合には、神戸大学医学部附属病院腎臓内科などへ精査・治療を依頼しますが、退院後は弊院での治療継続、あるいはご紹介元の医療機関での治療継続を病状に応じて選択しております。また、従来から弊院の各診療科に通院・入院されている患者さんについても、CKDに関連した貧血、骨ミネラル代謝異常、酸塩基平衡異常の管理に当たっております。

平成26年度より外来診療枠を週 2 回に拡充いたしました（月曜午前診、木曜午後診）。さらに充実した診療を目指してまいりますので、今後とも腎機能障害、検尿異常などで困っておられる場合には、ぜひともご相談ください。

● 3 病棟紹介

加古川東市民病院 3 病棟 看護師長：葉田 真美子

3 病棟は、小児科を含む混合病棟です。小児科は毎週火曜日・毎月第 4 土曜日の小児科救急に対応しています。食物アレルギーの検査入院・小人症検査・呼吸器疾患・川崎病など多くの患者さんが入院しています。治療も大切ですが小児の成長を踏まえて、季節ごとのお楽しみ会を保育士と共に開催しています。入院中でも子供らしく楽しく過ごせるようにスタッフみんなで関わらせていただいています。

また、内科・形成外科・口腔外科・外科・内視鏡の入院検査等様々な疾患に対応しています。病床数は 39 床で、個室・2 人部屋・3 人部屋・6 人部屋があります。入院日数が短いため、入退院が多いのも特徴です。

私たちは、0 歳から高齢者まであらゆる年齢層に安全で、優しさあふれる看護を目指して、日々邁進しております。よろしくお願いいたします。



● 外来診療表 加古川西市民病院

平成26年6月1日現在

新患受付 8:00~11:00

再来受付 8:00~11:00

※日程表は随時変更がありますのでご注意ください。

曜日		月		火		水		木		金	
科名		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総 合 内 科		鎮西●	白木 (大西) (検診二次)	大西●	鎮西 (高血圧)	鎮西	宇高 (永田) (検診二次)	石川●		鎮西	石川 (西馬) (検診二次)
糖尿病内科		永田●		永田●	小林	浜口●		楯谷●	永田 (糖尿病治療外来)	永田●	小林
総 合 内 科		西澤●				名村●			高山	宇高●(循環器)	
消化器内科		田村●		中村●		西澤●		寺尾●			
呼吸器内科		西馬●		植田●		木村●		西馬●	木村(禁煙外来)	植田●	
循環器内科			伴●	大西●		白木●		石川●		白木●	伴●
腫瘍・血液内科		岡村		川本		岡村		岡村			
リウマチ科		田中●		山根●			葉	山根●／田中		葉●	
フットケア外来			担当医		担当医				担当医		担当医
緩和ケア外来					担当医						
	検査	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡	上部内視鏡	下部内視鏡
精神神経科	診察	担当医● 1. 河野 2. 吉住 3. 田中		担当医● 1. 河野 2. 吉住 3. 村尾		担当医● 1. 西村 2. 吉住 3. 山口		担当医● 1. 河野 (物忘れ外来) 2. 内藤 3. 松山		担当医● 1. 河野 2. 吉住 3. 新光	
	検査	新開 心理検査(予約)						増田 心理検査(予約)		富田 心理検査(予約)	
放射線科	診察	土師 放射線治療		診察はありません。		清水		土師 放射線治療		土師	
	検査		特殊撮影	特殊撮影		消化管透視	特殊撮影		特殊撮影	消化管透視	特殊撮影
		MRI・CT		MRI・CT		MRI・CT		MRI・CT		MRI・CT	
小児科	診察	1. 親里●	森川 発達フォローアップ	1. 西山●	横田 発達フォローアップ	1. 中尻●	西山 代謝	1. 石森●	森沢 発達フォローアップ	1. 米谷●	橋本 発達フォローアップ
		2. 石森	森沢 発達フォローアップ	2. 米谷	松本 アレルギー- 腎臓	2. 森川	親里 小児神経	2. 平田	予防接種	2. 親里	親里 小児神経
		3. 橋本	西山 内分泌	3. 大西	石森 腎臓	3. 松本	米谷 発達フォローアップ	3. 松本	橋本 アレルギー-	3. 金川	石森 腎臓
		4. 平田	村田 神経発達	4. 永井	平田 アレルギー-	4. 徳元	乳児検診 シナジス外来	4. 上田	金川(第1,3,5)／ 中尻(第2,4) 小児神経	4. 中尻	西山 在宅医療
	検査			坂崎／鶏内 (永井・徳元)循環器	心エコー (大山)		心エコー 橋本(米谷)				
	心理	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 立本	岡田 若松	岡田 若松	立本 牧	立本 牧
外 科		1. 金田●	1. 金田 (肝胆脾外科外来)	1. 担当医●		1. 金田●	1. 金田 (肝胆脾外科外来)	1. 酒井●		1. 酒井●	
		2. 布施				2. 森本		2. 原田		2. 堀井	
小児科		久野●	安福(予約)	久野● 10:30 まで	手術	安福●	安福(予約)	安福●	安福(予約)	久野● 10:30 まで	手術
整形外科	新患	担当医 10:30 まで	手術	福田●	手術	代診	手術	荷田●	齋藤	齋藤●	手術
	再来	再来診察は ありません。		荷田		再来診察は ありません。		福田(予約のみ)			
脳外科		石原●		石原●		石原●		石原●		診察は ありません	検査
産婦人科	初診	1. 田中	1. 田中 超音波	1. 森本	1. 森本 超音波	10:30 まで 1. 山田隆 超音波	1. 山田隆 超音波	1. 房	1. 房 超音波	1. 太田	1. 太田
		2. 房		2. 太田		2. 奥		2. 田中		2. 山田隆	超音波
		3. 山田隆●	手術	3. 田中●		3. 房／森本●	手術	3. 太田●	手術	3. 奥●	手術
		助産外来		助産外来		助産外来		助産外来		助産外来	
耳鼻科		安井 繁治 10:30 まで 聴力検査	手術	安井● 繁治 聴力検査	安井(予約) 繁治(予約) 検査	繁治(第1,3,5)● 安井(第2,4)● (1診のみ) 聴力検査	予約検査	代診医 (1診のみ) 聴力検査	手術	安井● 繁治 聴力検査	安井(予約) 繁治(予約) 検査
眼 科		1. 原●	子供外来 (田岡/辰巳/楯谷)	1. 田岡●	2. 楯谷● 3. 下山 4. 藤岡(第1・2・4) 糖尿病外来(第2・4) (手術)	1. 楯谷	検査 未熟児眼底	1. 永井	コンタクト(下山) 術前検査	1. 下山	術前検査
		2. 松野		3. 原 (第1週は休診)		2. 永井●		3. 下山●		2. 楯谷	
		3. 永井	手術 レーザー治療 (小児手術)	4. 藤岡(第1・2・4) 糖尿病外来(第2・4) (手術)	手術 レーザー治療	4. 藤岡 (硝子体注射)	手術 レーザー治療	4. 藤岡 (手術)	手術 レーザー治療	4. 松野	レーザー治療
		4. 辰巳									
泌尿器科		担当医●	検査	担当医●	検査 第2・4 ED外来	手術 (診察はありません。)		担当医●	検査	安福 10:30まで	手術
		岡		安福		岡	安福				
皮膚科		1. 山田●	検査	1. 山田	検査	1. 山田●	手術	1. 山田	検査	1. 山田●	手術
		2. 五木田		2. 五木田●		2. 五木田		2. 五木田●			

インターネット予約枠

●病診連携医師

★診療の都合上、診療医が変更となる場合がありますのでご了承ください。

※精神神経科の初診受付は完全予約制になります。

● 外来診療表 加古川東市民病院

平成26年6月1日現在

科	診察室		月	火	水	木	金	
内 科	11	午前	安田	中村	清水	笠原	角谷	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~ 午後 診察 13:00~ 再診(予約)のみ ※呼吸器外来、腎臓内科、神経内科 受付 13:00~15:00 紹介のみ(要FAX予約)
		午後	*	*	清水	笠原	角谷	
	12	午前	久禮	古松	山城	織田	山城	
		午後	大寺 (呼吸器外来)	*	*	畠山 (呼吸器外来)	*	
	13	午前	高見	本多	中村	古田	清水	
		午後	*	本多	*	*	清水	
	14	午前	熊谷 寛	安田	辻	本多	井上	
		午後	*	*	*	米倉 (腎臓内科)	*	
	16	午前	寺尾	平田	消化器担当医	當銘	古松	
		午後	*	*	*	*	*	
	22	午後	*	担当医 (予防注射)	*	*	*	
	23	午後	松岡 (14:00~15:30)	*	*	*	*	
	25	午後	*	笠原 (13:30~15:30)	*	*	*	
	33	午前	宇高 (予約のみ)	藤岡	鷺田 (神経内科)	神野 (糖尿病)	嘉悦	
		午後	清水	角谷 (13:30~15:30)	大西 裕	神野 (糖尿病)	古和 (神経内科)	
小児科	72	午前	佐々木	谷中	井上	谷中	佐々木	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~ 午後 受付 (藤本医師のみ) 14:00~15:30 診察 14:30~ ※専門外来の診察は再診(予約)のみ
		午後	三舛 10:00~	井上 10:00~	佐々木 10:00~	三舛 10:00~	井上 10:00~	
			*	*	*	*	*	
	72・74		*	藤本 72	*	藤本 74	*	
	72・74	午後	谷中 アレルギー外来 14:30~16:00 74	*	谷中 喘息 14:30~16:00 (予約なし) 74	井上 心、肝、腎 14:30~15:30 72	担当医 乳児検診 14:00~15:00 74	
	72・76		井上 夜尿症 72 14:30~16:00	吉田 夜尿症 76 14:30~16:00	*	佐々木 神経外来 76 14:30~16:00	担当医 乳児検診 72 14:30~16:00	
外 科	21	午前	堀	西田	*	堀	西田	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~
	23	午前	*	渋谷	*	担当医 (創傷処置)	*	
	27	午前	担当医 (創傷処置)	渋谷 (創傷処置)	*	*	担当医 (創傷処置)	
整形外科	25	午前	西山	*	西山	織邊	西山	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~ 午後 診察 14:30~ 再診(予約)のみ
	26	午前	高瀬	*	織邊	熊谷 宏	熊谷 宏	
	25	午後	*	*	西山 (股関節外来)	*	*	
形成外科	22	午前	前田	*	前田	*	前田	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~ 午後 受付 診察 14:00~16:00 14:30~
	23	午前	岩谷	*	岩谷	*	岩谷	
	22	午後	*	前田	*	*	*	
	23	午後	*	岩谷	*	*	*	
心臓血管外科	27	午前	*	大保	*	脇山	*	午前 受付 診察 8:30~11:30 初診は紹介のみ 9:00~ 午後 診察 14:00~ 再診(予約)のみ
	27	午後	*	大保	*	脇山	*	
	25		*	*	*	泉 聡	*	
産婦人科	83・84	午前	*	*	*	担当医 (予約のみ)	*	午前 受付 診察 8:30~11:00 9:00~(予約)のみ
(乳癌検診)	83	午後	*	*	*	泉 融 (乳癌検診)	*	※乳癌検診 (電話予約) 診察14:00~
歯 科 口腔外科	91	午前	柚島・松本 藤原 (松尾)	李・松本 藤原・後藤 (松尾)	李 柚島・松本 (松尾)	長谷川	李・柚島 藤原・明石 (松尾)	午前 受付 診察 8:30~11:30 9:00~ 午後 診察 14:00~ 再診(予約)のみ
	91	午後	李・柚島 松本・藤原 (松尾) 14:00~	李・柚島 松本・藤原 (松尾) 14:00~	柚島 松本・藤原 (松尾) 14:00~	長谷川 14:00~	柚島 松本・藤原 (松尾) 14:00~	
放射線科			中村	中村	中村	中村	中村	受付 8:30~
眼 科	75	午後	*	*	*	担当医 入院患者のみ	*	木曜日 受付(入院患者のみ) 12:45~13:45 診察 13:00~14:00

※*は診察がありません。

※人間ドック 脳疾患検査(月~金) 13:00~

肺癌検査(木・金) 13:00~

※ の部分が変更箇所です。

※()は研修医です。

● 東・西看護部交流

融合・協調・信頼し合える集団になろう！



合同師長会について

加古川西市民病院 看護師長：柳内 直子・竹内 久枝

地方独立行政法人加古川市民病院機構として統合する以前の平成22年12月から「平成28年度新病院に向け、看護部職員がスムーズに融合し、協調・信頼し合える集団となる」という目標を掲げ、東西の師長が定期的に合同師長会を開催し交流を深めています。

具体的には、看護体制や教育体制の構築、業務の統一などの基盤整備に向け、現状分析を行い、どんな看護をしたいのか、どんな病院を作りたいのか、お互いの良い部分を吸収しながら、さらに新しい物を作り上げるという視点で話し合っています。

また、よりスムーズな融合に向け、その要としての人事交流も始まっています。地域一体型のチーム医療の実践に向け、質の高い新統合病院（仮称：加古川中央市民病院）の看護が提供できるように努力しています。

合同副師長会について

加古川東市民病院 副看護師長：卯内 かおり

平成23年4月に、加古川市民病院機構として新たなスタートを切り、早くも4年目を迎えました。東西の看護師は、それぞれが違ったフィールドで育ち、2年半後の統合に向けて、ただ漠然とした不安を持っているのではないかと思います。私たち副師長会では、統合後の看護師たちの不安をできるだけ軽減できるように、平成24年度から東西合同で副師長会を行ってきました。平成26年度は、昨年度の話し合いをもとに、「働きやすい職場環境」を目指して東西の副師長たちが一丸となり取り組んでいきたいと思っています。そうすることで、看護部が今よりもさらに活気づき、さらに質の高い看護が皆様に提供できるよう努力していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

合同教育委員会について

加古川西市民病院 看護師長：安東 明子

加古川市民病院機構看護部の教育は、加古川市民病院と神鋼加古川病院が統合する前年度の平成22年より、教育担当次長、師長間で東西交流を深めてきました。当初は2～3ヶ月に1回、最近では月一回のペースで意見交換を行い、「看護部理念に基づき、豊かな感性と倫理観を身につけ、地域住民の信頼に応えられる看護職員を育成する」という教育理念のもと、平成28年秋の新統合病院開院に向けて教育計画を立てています。

現在、新人教育については、東西合同での研修を行い、平成26年度は同期同士の交流や親睦が図れるような一日研修も予定しています。また弊院の理想とする看護師像を描きながらディスカッションを繰り返し、より良いクリニカルラダー制度を作ろうと頑張っています。



合同業務委員会について

加古川東市民病院 看護師長：伊藤 美喜



平成28年秋の新統合病院開院に向けて、看護職員がスムーズに融合し、協調・信頼し合える集団となるために両病院看護部では様々な交流を行っています。その中の1つとして看護業務委員会の交流を平成25年度より始めています。看護部の業務委員会は、「患者に安全で質の高い看護を提供するために看護実践基準・手順を標準化する」ことを目的に開催されています。両病院の業務委員が合同で委員会を開催し、人事交流を図るとともに、患者のケアプロセスにそって実践される看護について検討しています。それぞれの病院の特徴を活かしつつ「目指すケアプロセス」についての認識の統一を図り、新病院に向けて1+1=2ではなくて、1+1>2になるような看護部を目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。



● 加古川西市民病院 地域連携室 ●

TEL (079) 434-2059 (直通)

FAX (079) 434-2033 (直通)

● 加古川東市民病院 地域連携室 ●

TEL (079) 437-3285 (直通)

FAX (079) 437-3286 (直通)